

OTC 清算システムにおける口座概念

1. 債務負担取引の管理

JSCC による債務負担取引の管理は、OSTTRA Connect for Rates または Tradeweb SEF/MTF（直接接続）から申し込まれた取引の場合は BIC コードごとに設定する JSCC 口座にて、その他 ATS から申し込まれた取引の場合は「LEI+BookID」ごとに設定する JSCC 口座にて管理する（詳細は以下のイメージ図を参照）。

(1) OSTTRA Connect for Rates または Tradeweb SEF/MTF（直接接続）を使用する場合

<第1階層口座>

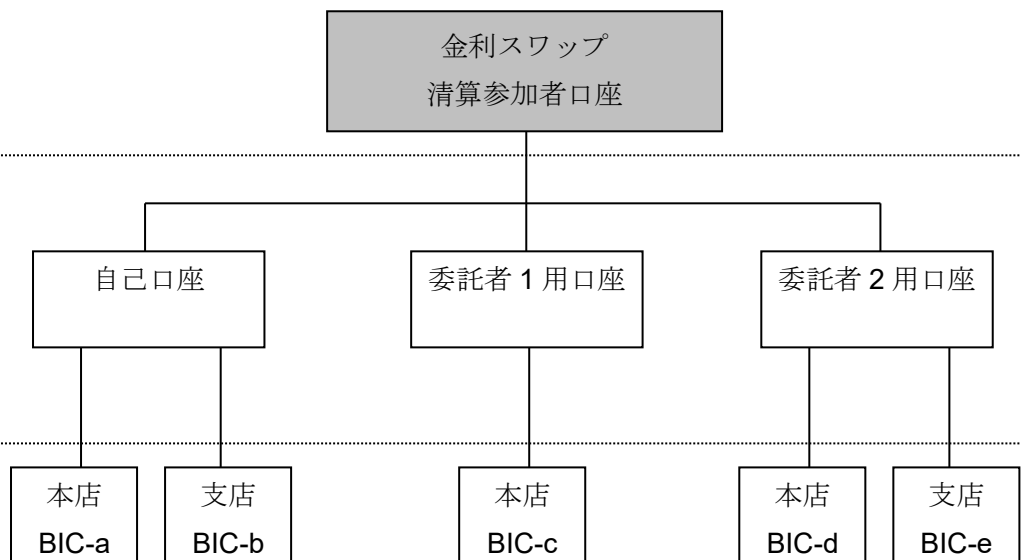
：金利スワップ取引清算参加者の全残高を管理する口座

<第2階層口座>

：自己分を管理する口座（複数設定不可）及び
清算取次ぎの委託者分（アフィリエイト、クライアント）を
管理する口座（複数設定可）

<第3階層口座>

：自己又は委託者内において取引の管理上、
OSTTRA Connect for Rates または Tradeweb SEF/MTF（直接接続）で使用する
BIC コードごとに設定を可能とする口座
（本店・支店間で別の BIC コードを設定している場合等を想定）
（受託清算参加者として複数 BIC コード（例：BIC-a、BIC-b）の利用可。）



(2) その他 ATS を使用する場合

<第1階層口座>

：金利スワップ取引清算参加者の全残高を管理する口座

<第2階層口座>

：自己分を管理する口座（複数設定不可）及び
清算取次ぎの委託者分（アフィリエイト、クライアント）を
管理する口座（複数設定可）
各口座の LEI（Legal Entity Identifier）を JSCC へ申告

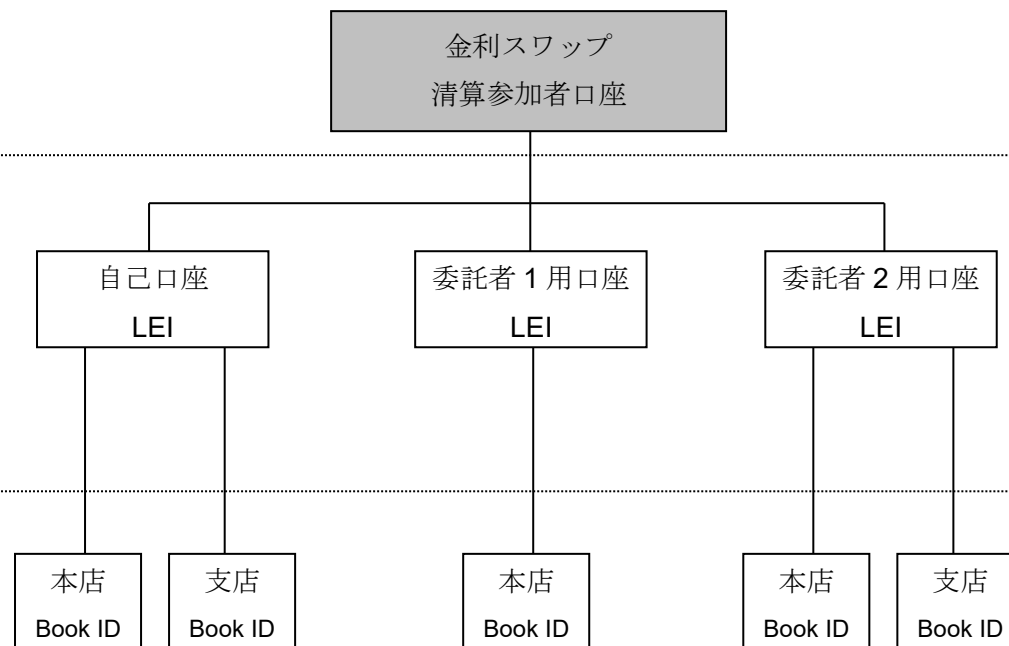
<第3階層口座>

：自己又は委託者内において取引の管理上、

Book ID ごとに設定を可能とする口座

※**Book ID** は、「参加者コード（5桁コード）＋IRS
＋自己委託区分（参加者は H、アフィリエイト及び
クライアントは C）＋第二階層名称（3桁コード）
＋第三階層名称（3桁コードのみ）」を設定。

※なお、同一の JSCC 口座に OSTTRA Connect for Rates または Tradeweb SEF/MTF（直接接続）で使用する
BIC コードと **Book ID** を設定し、債務負担申込元にかかわらず同一の
JSCC 口座にて取引を管理することができる。



2. 証拠金所要額の計算単位

- ・証拠金所要額の計算は、第2階層で行う。
- ・金利スワップ清算参加者がJSCCに対して預託を行う際の証拠金所要額は、第2階層における自己口座に対する所要額及び第2階層における各顧客口座に対する所要額となる。

<第1階層口座>

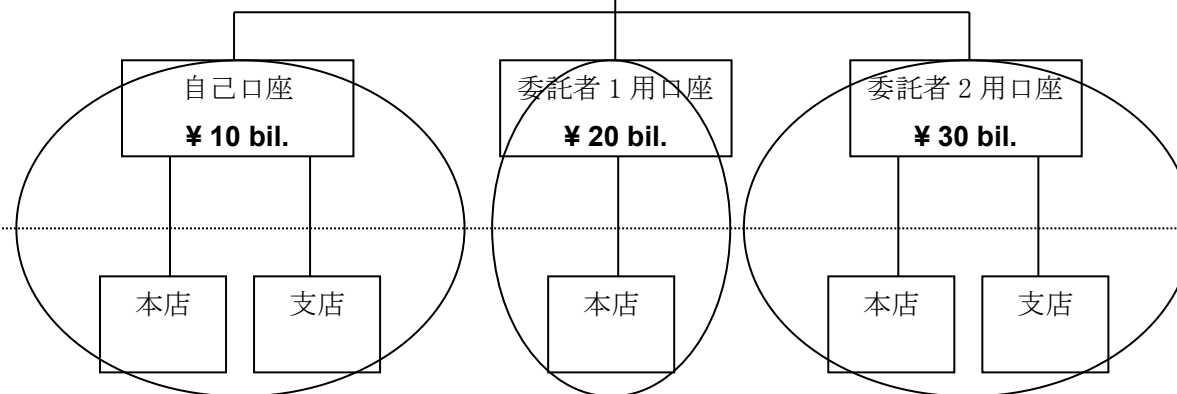
：金利スワップ清算参加者がJSCCに対して預託を行う際の所要額

金利スワップ清算参加者口座
自己分の証拠金所要額：¥10 bil.
委託者1の証拠金所要額：¥20 bil.
委託者2の証拠金所要額：¥30 bil.

<第2階層口座>

：配下の全ての第3階層の口座の取引を対象として
所要額を算出

<第3階層口座>



第3階層に複数の口座を設定した場合、第3階層における全ての口座の全ての取引を対象として第2階層単位で証拠金の計算が行われる（各第3階層の口座間でのリスクはネットィングされる）。